

USPTO、業務への AI の適用拡大に向けて企業との提携を推進

2020 年 5 月 19 日
JETRO NY 知的財産部
柳澤、笠原

General Dynamics Information Technology 社（以下、GDIT 社）は、5 月 11 日、人工知能（AI）、機械学習などに関する業務で米国特許商標庁（USPTO）と契約を締結したと発表した¹。

USPTO は、AI や機械学習技術の業務への適用拡大を推進するため、Intelligent Automation and Innovation Support Services (IAISS) と呼ばれる 5,000 万 US ドル (50 億円超) 規模のプロジェクトを実施しており、今般、AI、機械学習などに関する技術開発サポートを受けるために GDIT 社と契約を結んだ。

USPTO は、IAISS プロジェクトの推進のため、GDIT 社以外にも以下の企業と契約を締結しているとのこと²。USPTO は、AI を活用して先行文献調査や分類付与などを含む庁業務の効率化を図ることを最優先に取り組むべき重要課題の一つとしており、今後の開発動向が注目される。

- ・ Anika Systems 社
- ・ Steampunk 社
- ・ Soft Tech Consulting 社
- ・ Satsyil 社
- ・ SAIC 社
- ・ Octo 社
- ・ IBM 社
- ・ Accenture 社
- ・ Booz Allen Hamilton 社
- ・ Deloitte 社
- ・ General Dynamics 社
- ・ Guidehouse 社
- ・ EY 社

(以上)

¹ <https://www.gdit.com/about-gdit/press-releases/uspto-awards-general-dynamics-artificial-intelligence-contract/>

² <https://etc.g2xchange.com/statics/award-50m-uspto-intelligent-automation-innovation-support-services-iaiss-bpa/>